

協働環境委員会会議録

令和5年9月19日（火）

（開 会） 10：00

（閉 会） 10：23

【 案 件 】

1. 議案第55号 損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解（公用車による物損事故）
2. 請願第 3号 子育て支援の充実（子ども医療費無償化）を求める請願

【 報告事項 】

1. 飯塚市行政経営戦略推進ビジョン（素案）及び市民意見募集について

○委員長

ただいまから協働環境委員会を開会いたします。

「議案第55号 損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解（公用車による物損事故）」を議題といたします。執行部の補足説明を求めます。

○環境対策課長

「議案第55号 損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解（公用車による物損事故）」について、補足説明いたします。

議案書の5ページをお願いいたします。本案は、地方自治法第96条第1項12号及び第13号の規定に基づき、議会の議決を求めるために、本案を提出するものです。

本件事故は、令和5年3月21日、火曜日、午前9時45分ごろ、飯塚市飯塚地内におきまして、環境対策課職員がごみ収集作業中、歩行者を避けるため、収集車を一時停車させ、発進させる際に、左後方の安全確認を十分にしないまま前進したため、店舗の外壁に接触し、相手方店舗の外壁及び天井部を損傷させたものでございます。

この事故による和解につきましては、市の過失100%であり、建物の損害賠償額57万7940円を相手方に支払いするものでございます。

ごみ収集作業につきましては、日頃より機会あるごとに職員には安全管理等に努めるよう指導いたしておりますが、さらにより一層、当該職員はもとより、所属職員一同に対しまして、安全確認、危機管理意識等に細心の注意を払って業務に当たるよう注意喚起を行い、再発防止に努めてまいります。

以上、簡単ではございますが、「議案第55号」の補足説明を終わります。

○委員長

説明が終わりましたので、質疑を許します。質疑はありますか。

（ 質疑なし ）

質疑を終結いたします。討論を許します。討論はありますか。

（ 討論なし ）

討論を終結いたします。採決いたします。「議案第55号 損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解（公用車による物損事故）」については、原案のとおり可決することに、ご異議ありませんか。

（ 異議なし ）

ご異議なしと認めます。よって、本案は、原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

次に「請願第3号 子育て支援の充実（子ども医療費無償化）を求める請願」を議題といたします。

お諮りいたします。本請願につきましては、慎重に審査するため、閉会中に委員会を開催し、紹介議員から趣旨説明を受けた後に審査を行うということで、本日は継続審査といたしたいと

思います。これにご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認めます。よって本件は、継続審査とすることに決定いたしました。

お諮りいたします。案件に記載のとおり、執行部から、1件について、報告したい旨の申出があつております。報告を受けることにご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認めます。よって、報告を受けることに決定いたしました。

「飯塚市行政経営戦略推進ビジョン（素案）及び市民意見募集について」、報告を求めます。
○業務改善・DX推進課長

「飯塚市行政経営戦略推進ビジョン（素案）及び市民意見募集について」、ご報告いたします。

現行の飯塚市第2次行財政改革大綱及び第2次行財政改革後期実施計画の計画期間が令和5年度をもって終了することから、新たな飯塚市行政経営戦略推進ビジョン及び実施計画となりますプランの策定に向け、飯塚市行政経営戦略推進審議会を設置し、審議を進めているところでございます。

資料の1ページをお願いいたします。「はじめに」と題しまして、本ビジョン策定の背景にある、少子高齢化の進行による人口構造の変化や社会経済情勢の変化についてと、それに柔軟に対応するため、飯塚市も変化していく必要があるといったことを記載しております。

2ページから9ページにかけて、これまでの行財政改革の取組や、市及び市を取り巻く現状等について記載をいたしております。

10ページでは、本市が目指す姿として、「時代の変化をも追い風に成長を続ける“スマートシティ飯塚”」を掲げ、少子高齢化の進行による人口構造の変化に伴って生じる新たな社会的課題等に対応するため、働き方改革、業務改善やデジタル・トランスフォーメーションなどの取組を積極的に推進することにより、行政サービスの質を向上させ、かつ、継続的に提供することができる自治体を目指しております。

また、取組を推進することで、市民の利便性が向上するだけでなく、内部事務を含めた行政サービスそのものが向上することにより、市民満足度が向上し、職員のやりがいも向上する、向上の好循環が生まれるというイメージ図を記載しております。

11ページでは、目指す姿の実現に向けて「大切にしたいこと」として、「市民起点、現場起点でのサービス改革、業務改革」、「横断的な視点によるサービスや資源の全体最適化」、「当たり前を疑え！本当に必要なものを残しムダなものを捨てる」、「職員がやりがいを感じ、個性を活かして活躍できる環境づくり」、「新しい技術を積極的に取り入れ、変化の波に乗るチャレンジ精神」の5項目を掲げております。

13ページに、計画の位置づけ、計画期間を記載しております。

14ページでは、本市の行政経営における成果を市民目線から捉える指標として、飯塚市民意識調査の行政経営分野の満足度4項目及び職員のやりがいを測る指標として働き方改革に関するアンケートの職場満足度、合わせて5項目を掲げております。

なお、表の右側の上昇となっている欄につきましては、市民意識調査のこれまでの推移と今後策定予定の実施計画である飯塚市行政経営戦略推進プランにおける個別の推進項目での取組を勘案して目標数値を定める予定としております。

また、財政的な効果につきましては、今後、飯塚市行政経営戦略推進プランにおける個別の推進項目ごとの数値を積み上げていくなかで、成果指標を設定する予定といたしております。

15ページから18ページにかけては、「情報・デジタル化の改革」、「人の改革」、「財政の改革」、「施設・モノの改革」の体系ごとに取組の方向性や主な取組について記載し、19ページに全体のイメージを記載しております。

20ページに推進体制、21ページに進行管理の手法について記載をいたしております。

また、資料の最後には、素案の内容を一枚にまとめたものを添付いたしております。

なお、今後のスケジュールでございますが、全常任委員会にてご報告をさせていただいた後、本庁、各支所、12地区交流センター、コミュニティセンターにて、素案に対する市民意見を募集する予定といたしております。また、市のホームページでも電子申請にて意見を募集する予定でございます。

その後はビジョンの審議と並行して各所管課で実施していく項目をまとめた実施計画となる飯塚市行政経営戦略推進プランの策定を進め、11月上旬にビジョンについての審議会答申をいただき、11月中旬を目途に飯塚市行政経営戦略推進ビジョン及びプランを策定したいと考えております。

なお、策定しました飯塚市行政経営戦略推進ビジョン及びプランの内容につきましては、各常任委員会にてご報告させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上、簡単ではございますが報告を終わります。

○委員長

報告が終わりましたので、質疑を許します。質疑はありますか。

○藤間委員

特にこの資料の中の12ページで、取組方の考え方としてバックキャストिंगというご説明がございます。すなわち、5年後のあるべき姿を考えて、そこから逆算すると。この考え方は本当にすてきで、こうあるべきだと思います。ただ一方で、この資料を見てみると、5年後のあるべき姿を掲げて、それに対してステップアップしていくというようなことが資料に今のところ書いていないというのがあっておられて、例えば、この成果指標であげられていらっしゃる、14ページですよ、満足度がアップするというのが成果指標と書いておられますが、やはりプランをつくるに当たって、飯塚市としてしっかりとこれに向けて努力をしたのかしていないのか。すなわち、市民あるいは議会としてちゃんと取組をやったのかどうか判断できるような指標を置く、例えばなんですけれども、ちょっと何年か前に、吉松議員が、地域貢献型の営利活動を市の職員に対して全国的に解禁されたという中で、まだやっていたらいらっしゃる職員の方はいらしかなかったと、例えば、もしこの活動が重要だと思えば、3件とか5件とか数字にしましょうみたいな、数値目標、それ以外でも、今、職員の人材育成については、7%の基準値が上昇としかなくてないんですけども、今、研修費がいくらなのであればもっとかけましょうですとか、離職率の数値を設定するですとか、もう少し具体化していかないと、結局5年たったときに、本当にやったのか、やってないのか分からなくなってしまうという問題点があるんじゃないかなと思っております。

ただ、この目標値っていうのは理想を言っても仕方ありませんから、例えば、市役所にやって来た市民の方が満足して帰っていただけるっていう理想であると思うんですけども、満足度が高いみたいな指標って難しいので、例えば不満足があったときに、はがきとかタッチパネルで押したりとか、不満足な市民がいたら分かるような仕組みですとか、ちょっと数値化した仕組みみたいなものが入っているといいんじゃないかなと思いました。

○委員長

今のご意見としては意見として。（発言するものあり）ありがとうございます。

ほかに質疑はありますか。

○小幡委員

あくまでも素案だから中身には、ほかのは触れないんだけど、この素案づくりの元となるメンバー、各課からいろいろな要望等も上がってきて、考え方を集約するんだろうけれども、本市のこのビジョンのまとめをするメンバーはどのようなメンバーで考えておられるんですか。

○業務改善・DX推進課長

骨子につきましては、業務改善・DX推進課であるとか行政経営部内の関係課、人事課等で骨子を考へて、先ほどご説明いたしました外部の審議会のほうを立ち上げて、附属機関がございいますので、そちらのほうでご意見をいただきながら、現在の素案をつくったところでございます。

○小幡委員

説明にあった外部団体というか、審議会、そこから答申をいただくんでしょう、基本的には。その組織のメンバーというか、どういった組織なのか、ご案内してください。

○業務改善・DX推進課長

次期大綱になりますけれども、主な柱となると想定しております項目を、行政施策、DX推進、財務、人材育成、働き方改革、経営といった項目立てさせていただきまして、そちらを中心にご助言をいただくような方を6名を選出をさせていただいております。行政経験がある方であるとか、DX推進として他の自治体で最高デジタル責任者を務められている方とか、あと財政関係でいいますと、福岡フィナンシャルグループのほうから選出をしていただいたりといったところで、メンバー構成をさせていただいております。

○小幡委員

そのメンバーの方の答申はいつ出ると言われましたか。

○業務改善・DX推進課長

11月上旬をめどに考えております。

○小幡委員

14ページに、行政経営の方向性とありますが、成果の指標を、今から市民意識調査、これはアンケートですよ、どのような時期に、どのような方法で、どういったメンバーで意識調査をされるのかの考えをちょっとお示してください。

○業務改善・DX推進課長

市民意識調査につきましては、総合政策のほうでアンケートを取らせていただいております飯塚市のまちづくりの取組に対する満足度、重要度の部分の行政経営部門の項目を採用させていただいているところがございます。大体2年に1回のペースでアンケートを取らせていただいておりますので、それで指標として図っていきたいと考えております。

○小幡委員

このアンケートの取り方もちょっと説明できたら。

○業務改善・DX推進課長

市内にお住まいの18歳以上の方、6千人を無作為に抽出をいたしまして、ご協力をいただいているところがございます。

○小幡委員

6千人ですね、回答率というのは、そのうちの何十%なんでしょうけれども。

最後になりますが、DXの必要性ということで、今現在、推進課として行っている内容というか、こういうことをやっていますよという報告があれば、お願いしたいんですけども。

○業務改善・DX推進課長

例でございますけれども、RPAと言われるような、ロボティックプロセスオートメーションと言われるようなものの実証的な導入であるとか、あるいはもう少し簡単なローコードとかノーコードとかと言われるアプリ開発のソフトとか、そういったところを活用したいということで、今実証的に進めている部分がございます。あと、AIにつきましては、AIチャットボットであるとか、あるいは、AIによる文字起こしツールといった、会議がどうしても市役所内は多くございますので、そういったものの文字起こしを簡単に行えるようなツールであるとか、そういったものの導入によって、業務改善を今図っているところがございます。

○委員長

ほかに質疑はありませんか。

○藤間委員

ちょっと小幡委員とかぶるところではあるんですが、2年ごとにアンケートを取っていくという話がありました。その項目には、職員の能力開発と人材評価ですとか、財政の健全化、こういったところもアンケートで聞くという形なんでしょうか。

○業務改善・DX推進課長

4項目につきましては、市民意識調査の項目になっております。

○藤間委員

そうしますと、成果の指標としては、こちらのみを考えていらっしゃるんでしょうか。質問の意図としては、例えば、職員の能力開発と人材育成っていうのを、市民6千人にランダムに送って聞いたとしても、それは適切なはかり方なのか、あるいはその財政の健全化についても、市民の方がいきなり封筒を受け取って、飯塚市の財政が健全かどうか判断してくださいと。これは適切なのかって若干疑念があるんですが、成果のはかり方としてはこれ単独なのか、このほかにもあり得るのか、どのようなご意見でしょうか。

○業務改善・DX推進課長

先ほどのご説明の中でも申し上げましたとおり、ビジョンのほかに具体的なプラン、推進項目であるプランの策定を進めてまいりますので、そちらの中で具体的な推進項目に対する数値目標というものを、それぞれの項目で掲げますので、そちらのほうをしっかりと成果の指標として図ってまいりたいと考えているところでございます。

○藤間委員

おっしゃるとおり例えば企業であれば、5年目標を立てた場合、これを1年ごとに振り返ったりですとか、半分のタイミングで、いわゆる進捗率、ゴールに対して今どのぐらい進んでいるのかっていうのを見たりするんですが、そういった観点は今回のプランではお考えでしょうか。

○業務改善・DX推進課長

委員がおっしゃるとおりバックキャストिंगでももちろんやりますので、目標に対してどのくらい進捗をしているのかというところは、先ほど申し上げた審議会のほうで評価のほうも客観的にしていただく予定でございますので、そこで進捗が遅れている場合は、どういう取組が必要なのかとか、そういったところを議論をしていただきたいというふうに考えているところでございます。

○藤間委員

もしかして私の不勉強だったら申し訳ありません。飯塚市第2次行財政改革大綱、こちらについても1年ごとにレビューがあったりですとか進捗を見たりですとか、過去のものについてもそういった取組でやられたということでしょうか。

○業務改善・DX推進課長

こちらにつきましても第2次行財政改革後期実施計画という実施計画を立てておりますので、そちらのほうは毎年、進捗の状況確認というのをやっているところでございます。

○委員長

ほかに質疑はありませんか。

○小幡委員

聞きそびれました。14ページ、先ほどの市民意識調査に関連してなんですけれど、5項目に働き方改革に関する職員のアンケートってあるじゃないですか。これは飯塚市職員に対してアンケートを取るわけでしょう。今の働き方改革ですから、これに対して、今市役所内部での仕事が満足だとか、やや満足だとかいうような項目を聞くんでしょうけれども、特にアンケートって聞き方によっては答え方が大分変わるじゃないですか。職員に対するアンケートの取り

方というか、聞き方は、何か今素案があるんですか。こういったことの項目で職員からアンケートを取ろうというのがあればご案内ください。

○業務改善・DX推進課長

前回は行ったアンケートを参考にして進めるようになると思うんですけども、前回もそうですけれども、無記名で集約ができるような仕組みにしておりますので、生の意見が集約がしっかりできるようにっていうふうに検討していきたいと思っております。

○小幡委員

こちら側から提示した表題に対して答えるだけではなくて、今の説明だと意見という項目もあるということですか、職員のほうから意見が聞けるような。

○業務改善・DX推進課長

自由意見欄を設けておりますので、そちらのほうで声を集めてまいりたいと考えております。

○委員長

ほかに質疑はありませんか。

(な し)

質疑を終結いたします。本件は報告事項でありますので、ご了承願います。

これもちまして、協働環境委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。